

# しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.101

平成 28 年 10 月

## 「後志収穫祭 2016」終了！



長年、後志収穫祭を開催していてもその年の動向がまったく読めません。今年は台風被災多し、野菜高騰の報道もあり、初日から野菜買いに集中してしまい落胆な結果となった事業者もありました。売上報告からも、元気さで集客していた所、そうではない所の差が売上にも影響していたように思います。総計は昨年を 70,430 円超えています。ステージ看板下に地域おこし隊員の町自慢写真を紹介致しました。目立ち、近くで見たいという声もありましたので掲示する機会など有りましたら声掛けしてあげて下さい。ゆるキャラにも、たくさん参加頂き来場の方々に喜んで頂きましたし、STS より参加お礼に制作した「ゆるキャラカード」は意外にも子供に大人気で、集めまくり、カードを手にとるとご当地キャラへの愛着が深くなるという光景が見えました。開催中の様々な作業には北星学園大学生、会場設営、撤収には小樽開発建設部に大変お世話になりました。ありがとうございました！

**総売上：7,457,780 円（昨年 7,387,350 円） 購入単価：727 円（昨年 636 円）**

**OBC 入館者：初日 36,000 人（昨年 32,500 人）、二日目 34,000 人（昨年 33,500 人）**

**駐車台数：初日 8,782 台（昨年 7,566 台）、二日目 8,267 台（8,265 台）**

売上 1 位：水産高校 600,000 円（昨年 400,000 円） 2 位：カネト水産 448,000 円 3 位：あさだ園 440,000 円



水産高校缶詰、今年は特に凄かった！ 意外に受けたプロフィールカード 初めて知った！これは生風味でホントに旨し！！

## インバウンド基礎調査「台湾大学生による自転車周遊で観光スポット、有ったら良いもの調査」



南後志3町村（島牧、寿都、黒松内）を黒松内道駅スタートに台湾・中華大学観光学部学生と3町村の観光担当の方と共に走行感や有ったら良いものなどを検証しながら走って頂きました。台湾では自転車、バイクが日常の交通手段なので初めての電動自転車という学生でも乗りこなしが早い。見えた海に歓声、滝に、木々や葉の緑色に感動と反応も日本の若者と違い、たいへん面白かったです。見学、昼食、宿泊と利用したどこの施設の方からも気遣い頂き、後志人の優しさ、おもてなし心を改めて実感致しました。田舎ほど、観光には関係ない、うちには観光資源が無いと聞くことが有りましたが、自転車周遊についていえば田舎ほど最適と感じました。また島牧の奥氏、黒松内の本間氏は英語堪能で、流暢に説明、案内している様は英語力の必要を改めて感じました。学生達にとって、初めて食べた小女子、たらこ、ウニは○、納豆や山芋など粘々系は×みたい・・・です。

彼らの SNS 発信、帰国後報告から後志へ興味を持ってくれた方々も多いようで、訪問にも繋がっているようです。



それぞれのお食事サービス満点！特にチーズフォンデュ、ミートローフ、ソフトクリームには大感激。

### TEC-FORCE 活動って？

SAT、SIT 的な特殊な響き。単純に「何しに行っているんですか？人命救助ってことでもないようですよし・・・」と聞いてみました。

『TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

※自然災害により重大な人的・物的被害が生じるまたはそのおそれがある場合に、市町村等の応急対策と災害復旧等の支援を実施する。

TEC-FORCEは、リエゾン・専門家派遣を含み、地方整備局等、国土地理院、国総研・土研・建研・港湾技研などにより構成させる。』「要するに開発の技術力を持って、応援要請のあった被災町村に行き、被災状況を調査し復旧額を概算で出し、激甚災害申請の基データにしてもらう。という仕事です。報道では、自衛隊や消防が活躍しているシーンが多く見受けられ、開発局職員が報道に載ることはほとんどないです」とのこと。市町村には専門の方が居ないので調査や工事内容などの助言活動など行うのですね！



←開発局 HP にも掲載されている被災現場の写真。

国道 274 号日高町の現場ですが、FB でも台風被害の現状を知ってほしいと地域住民からシェア、拡散希望が出ていました。

### 「第2回後志フードフェスティバル」参加してきました！



「しりべしコトリアード」料理講習会に興味あつての参加でしたが、ホテルシェフ達のお料理を多種類頂けるのだから、思うと貴重な機会ですね。ペットが居ると旅行も行かないので、ホテルのお食事を頂く機会も無いですし、断酒中なので帰り電車の乗り換えを気にすることもなく、アッシーにすら成れる(笑)

黒松内ブースで我が仲間「福ちゃん」発見！思いがけない再会だったのでとても嬉しかった～